

別紙

観光ルート等は，ペルソナを3人設定し，各人物の趣向に沿ったものを検討した。

ペルソナとは，対象の商品等を利用する架空の顧客像である。氏名，年齢，年収，趣味等細かく設定を行う。明確なイメージを持って企画に当たれるため，アウトプットに一貫性が生まれるというメリットがある。

今回は，チームのメンバーに県外出身者が多かったことから，自分たちを投影したペルソナを設定し，そのペルソナが訪れたい場所や催しの検討を行った。

今回作成したペルソナ及び観光ルート等

(ペルソナ1) 永 朋美さん

項目	特徴
氏名	永 朋美 (えい とみ)
年齢	27歳
配偶者	独身
年収	400万円
住居	東京暮らし
所属	会社員
趣味	歴史が好き
移動手段	ペーパードライバー 公共交通機関を主に利用
その他	東京暮らしに疲れている。水戸来訪経験 有・ミルクスタンドに感動した。自然が好き。 口癖は「だよな」同調傾向あり。寝る 前にYOUTUBEを見る。



永朋美さんの観光ルート

時間	内容	備考
10:00	水戸駅到着	郷土かるたの配布
	移動	VRバス
10:30	偕楽園、弘道館、徳川ミュージアム	VRバスの風景と変わらない街作り（宗柳や金沢を参考？） 刀剣乱舞
	移動	人力車の活用（要検討）
11:30	食事	偕楽園、徳川ミュージアム近辺にレストラン施設の設置検討
13:00	徳川ミュージアム	
14:30	千波湖	好文カフェ
17:00	食事	屋形船
19:00	ホテル	ホテル内に観光情報や郷土カルタを設置
翌日		水府ちようちん作り、剣道体験、木内酒造の酒作り、水戸の梅作り、浅川の菓子作り、田植え体験、田植えアート

永朋美さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆点在する歴史に係る施設を確実な導線で繋ぎ、周遊しやすくする。
 - ◆移動手段に「VRバス」「人力車（仮）」を導入し、“歴史に浸る”ことができる街づくりを行う。歴史施設周辺の景観を整備し、“まるで江戸時代にタイムスリップした”ような街づくりを実現する。
- ⇒浴衣で周遊できる観光ルートの設置

課題・今後の議論の方向性

- ①「VRバス」や「人力車」など実現難度の高い移動手段について、他の事例などを研究しながら実現可能性を探っていくこと。
- ②点在する歴史関連施設をいかに繋ぐか？また魅力を高めるために行えることは？など、満足度の高い観光ルートが設立できるよう検討する。



スムーズに歴史関連施設を周遊できる導線づくりと、各歴史施設における満足度の向上がポイント

(ペルソナ2) 赤塚 水戸さん

項目	特徴
氏名	赤塚 水戸 (あかつか みと)
年齢	20歳 (前後)
配偶者	独身
年収	アルバイト月数万円 (親の援助で生活)
住居	都内で一人暮らし (実家は練馬)
所属	大学生
趣味	オシャレ・ウィンドーショッピング・スイーツ・カフェ
移動手段	車は使わない。公共交通機関を主に利用
その他	スマホをよくチェックする。友達が多い。(5-6人で常に行動)。インスタ映えするスポットに惹かれる。オーパのレインボースイーツに惹かれる。ブランドが好き。とにかくオシャレが好き。



赤塚水戸さんの観光ルート

時間	内容	備考
12:00	水戸駅到着	友人3-4人
	昼食	オーパ・グラム サザコーヒー 花キャベツ (徒歩15分程度)
13:30	移動	シャトルバス
14:00	菓子工房	あさ川、亀印 菓子作り体験に参加
	陶器作り、カフェ	菓子を焼いている時間を利用して、カフェやその他の体験に参加
16:30	終了、移動	
17:00	夕食	酒趣、イ座、ぶちDining
19:00	帰宅の途 (水戸駅→東京駅)	

赤塚水戸さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆水戸市内空き地 (千波湖周辺) に体験作りを行う施設を設置する。
- ◆「亀印」「あさ川」など茨城の誇る菓子作り体験を目玉にする。
- ◆「笠間の陶器」「酒造り」「梅作り」「水府提灯作り」など、体験 (コト消費) を多く備えた施設を作る。

課題・今後の議論の方向性

- ①食事場所：昼食・夕食における魅力的な施設の検討、宿泊施設の検討
- ②目玉となり得る“体験”の更なる検討
- ③体験できる施設の設置における実現可能性の検証 (他県の好事例や費用対効果の凡の検討)



印象に残る“体験”ができる施設の設置、ターゲット層に魅力的と思われるレストラン・宿泊施設の設置の検討を進めていく。

(ペルソナ3) 山ノ草 明世

項目	特徴
氏名	山ノ草 明世 (やまのくさ あきよ)
年齢	32歳
配偶者	既婚
年収	世帯年収600万円
住居	都内在住 (湘南育ち)
所属	会社員
趣味	休日にしばしば旧友と飲み会 旅行 (伊豆、軽井沢、熱海、河口湖など)
移動手段	マイカー有、公共交通機関
その他	170cm, 55kg。マイペース。少し変わった 場所やユニークなものが好き。マラソン・ 歴史・日本酒・繁華街・景りが好き。



山ノ草明世さんの観光ルート

時間	内容	備考
11:00	水戸駅到着	郷土かるたの配布
	移動	屋形船
11:30	好文カフェ	千波湖周辺にて優雅な食事 (リゾート気分)
13:00	徳川ミュージアム、偕楽園、弘道館	歴史探索
16:00	移動	バス
19:00	大工町周辺にて夕食	大工町、ヨコタなど想定 あんこう鍋、久慈しゃも、常陸牛
23:00	水戸駅周辺のホテルにて宿泊	
(翌日) 6:00	大洗の朝市 見学、食事	
正午前後	帰宅	

山ノ草明世さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆点在する歴史に係る施設を確実な導線で繋ぎ、周遊しやすくする。(桜川への「屋形船」の導入など、ユニークな移動手段を設置する。)
- ◆食事場所などについて、有名な店や酒・食事のPRを行うこと。(ここでしか飲めない、「水戸の酒」や「あんこう鍋」「久慈しゃも」などをしっかりPRする。)
- ◆温泉などがあれば尚良い。

課題・今後の議論の方向性

- ①既に存在するコンテンツ(酒・食事)をいかにPRするかが鍵
- ②「大工町での満足度の高い食事」「千波湖でのリゾート気分の満喫」など具体的な観光イメージをつくり、定着・発信させることが重要



既に存在するコンテンツのPRポイントを明確化し、発信することが重要。